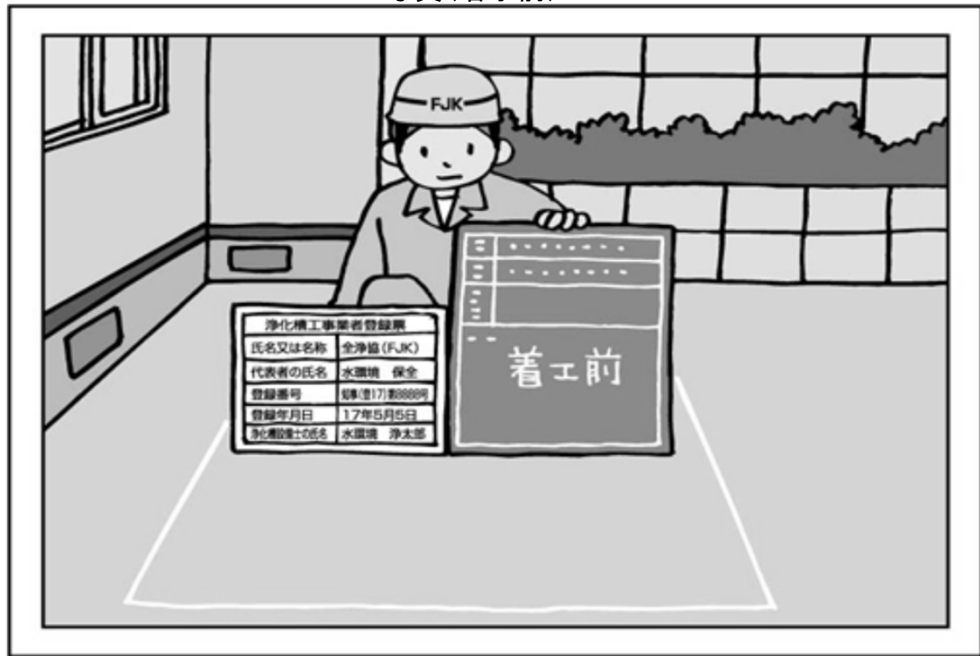


浄化槽工事写真の撮り方(例)

※令和4年度より、別紙 ” 写真撮影チェックリスト” を作成しましたので、チェックリストに沿って撮影および提出をお願いします。写真提出に不備がある場合は、補助金の支給ができない場合があります。

工事着手前

写真(着手前)



標識(様式第8号)

浄化槽工事業者登録票	
氏名又は名称	
代表者の氏名	
登録番号	知事(登)第 号
登録年月日	年 月 日
浄化槽設備士の氏名	

標識(様式第9号)

浄化槽工事業者届出済票	
氏名又は名称	
代表者の氏名	
届出番号	知事(届)第 号
登録年月日	年 月 日
浄化槽設備士の氏名	

標識の掲示は国土交通省「浄化槽工事業に関わる登録等に関する省令第9条」に定める別記様式第8号・同第9号による。

写真のポイント

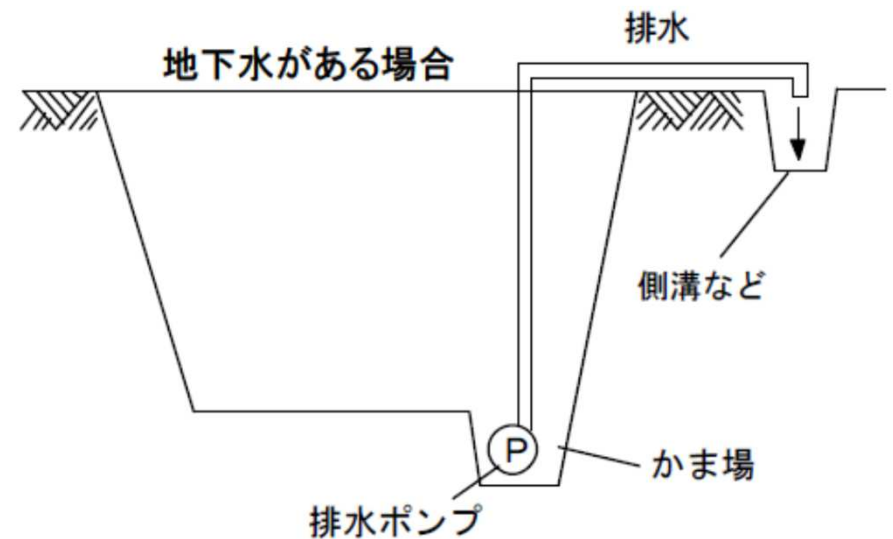
- ・ 浄化槽の設置場所を明確にし、周辺状況が分かるよう撮影してください。
- ・ 浄化槽設備士が正面を向き、顔がはっきり分かるようにしてください。
- ・ 標識・工事看板と一緒に撮影してください。

床堀(床付け)完了

写真(床付け完了状況)



図-1(参考)



工事施工のポイント

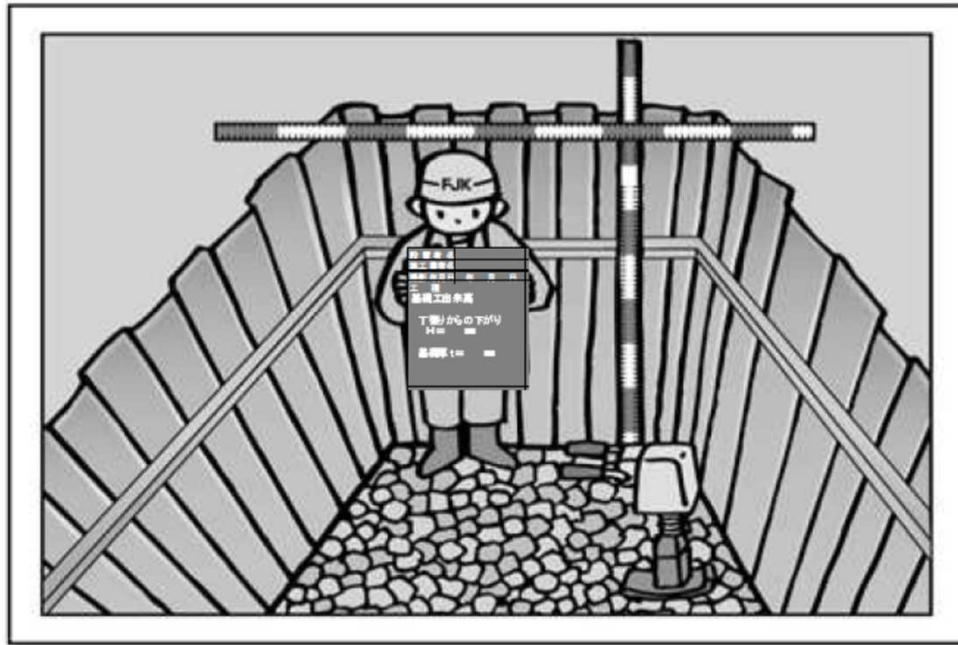
- ・土砂が崩壊しないように、関係法令等(労働安全衛生規則等)に従い、適切に行ってください。
- ・掘りすぎないように注意して掘削してください。掘りすぎた場合の調整は、捨てコンクリートで行ってください。
- ・床付け面は、平らに整形してください。
- ・地下水等がある場合は、図-1(参考)のように諸条件に合った適切な排水処理をしてください。

写真のポイント

- ・ 丁張り(または既設構造物等の動かないものを基準高とする。土の地面を基準高にしないでください。)から床付けまでの深さが確認できるようにしてください。
- ・ 床付け面の長さ、幅が確認できるようにしてください。(目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)

割栗地業(基礎碎石)完了

写真(基礎碎石仕上り状況 例1)



写真(基礎碎石仕上り状況 例2)



工事施工のポイント

- ・ 基礎碎石は、割栗石(大きさ45mm内外の碎石)、栗石、山砕等を地盤の状況に応じて適切に地業を行ってください。
- ・ 床付け面の転圧後、割栗石を敷き詰めた上から碎石(砂利)を撒いて、さらに転圧を十分を行ってください。
- ・ **仕上がり厚みは、必ず10cm以上を確保してください。(50人槽以下は、10cm以上と決められています。)**

写真のポイント

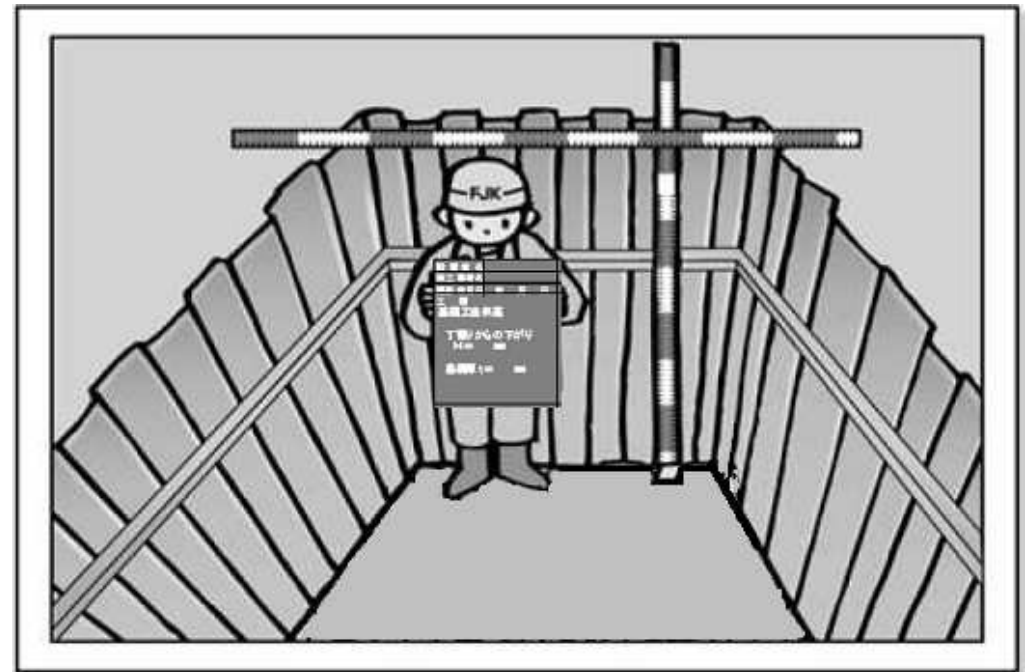
- ・ **仕上がり厚さが確認できるようにしてください。**(床掘完了時の基準高から転圧完了施工面までの深さで厚さを出すことも可能です。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)
- ・ 機械転圧作業を行っていることが確認できるようにしてください。

捨てコンクリート完了

写真(捨てコンクリート打設状況 例1)



写真(捨てコンクリート打設状況 例2)



工事施工のポイント

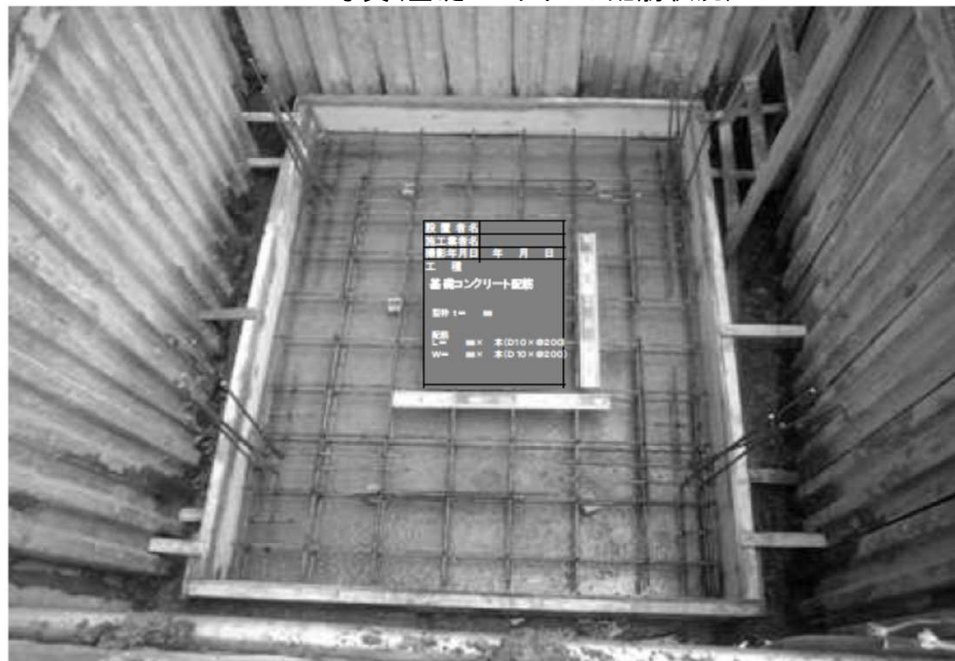
- ・ 捨てコンクリートの厚みは必ず5cm以上を確保してください。(50人槽以下は、捨てコンクリートの厚さ5cm以上、コンクリート設計基準強度15N/mm²以上と決められています。)
- ・ 十分な養生期間をとってください。
- ・ PC板を使用する場合、捨てコンクリート施工の有無はどちらでも問題ありません。

写真のポイント

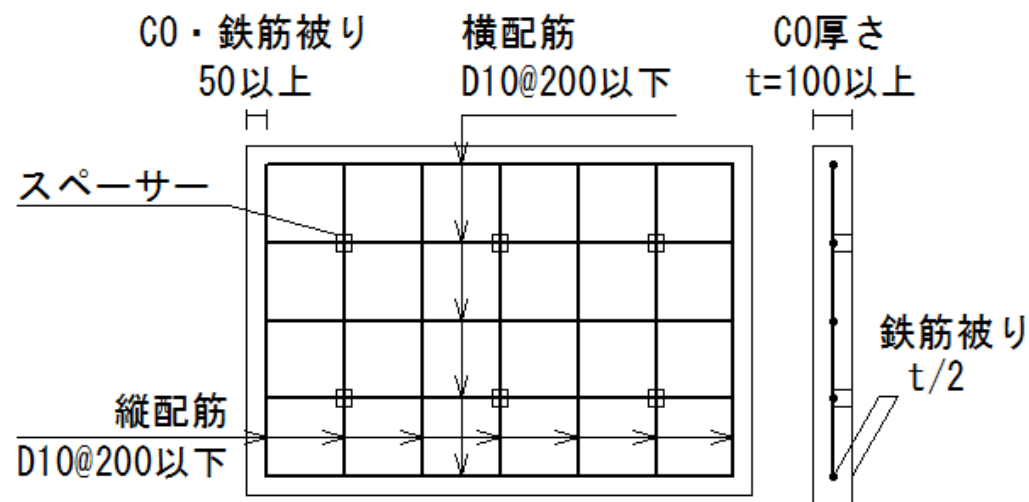
- ・ 仕上がり厚さが確認できるようにしてください。(床堀完了時の基準高から施工面までの深さで厚さを出すことも可能です。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)

基礎コンクリートの配筋状況(現場打)

写真(基礎コンクリート配筋状況)



基礎コンクリート配筋(一例)



※特殊工事(駐車場仕様)の場合は、各メーカーの施工要領書等による。

※捨てコン上に土砂等が飛散しないよう管理すること。

工事施工のポイント

- ・ 現場打ち基礎コンクリートの広さは、浄化槽外形寸法より大きくし、捨てコンクリート施工寸法より小さくしてください。
- ・ 基礎コンクリートの厚さは、10cm以上を確保してください。(50人槽までの個人設置型の場合は、基礎コンクリート厚さ10cm以上、コンクリート設計基準強度18N/mm²以上、スランプ18cm以下と決められています。)
- ・ 配筋は、異形鉄筋10mmを200mm間隔(シングル)で組み立て、必ずスペーサーを設置してください。(右上配筋図を参考にしてください。)
- ・ 十分な養生期間をとってください。

写真のポイント

- ・ 鉄筋の間隔がスケール等で確認できるようにしてください。(鉄筋が全部写るようにしてください。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)また、スペーサーが写るように撮影してください。

基礎コンクリート完了状況(現場打)

写真(基礎コンクリート仕上り状況)

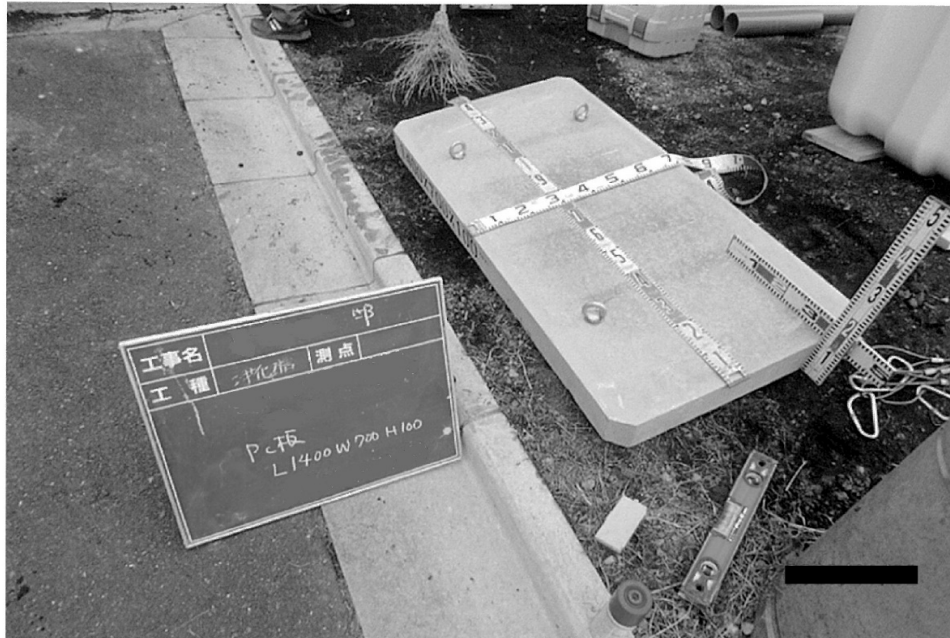


写真のポイント

- ・ 仕上がり長さ、幅、厚さが確認できるようにしてください。(床掘完了時の基準高から仕上り面までの深さで厚さを出すことも可能です。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)
- ・ 撮影時に型枠は脱却してください。
- ・ 1枚の写真で全体が写らない場合は、分割して撮影してください。

プレキャスト製品寸法確認(PC板)

写真(PC板寸法確認)



写真(PC板規格接写)



写真のポイント

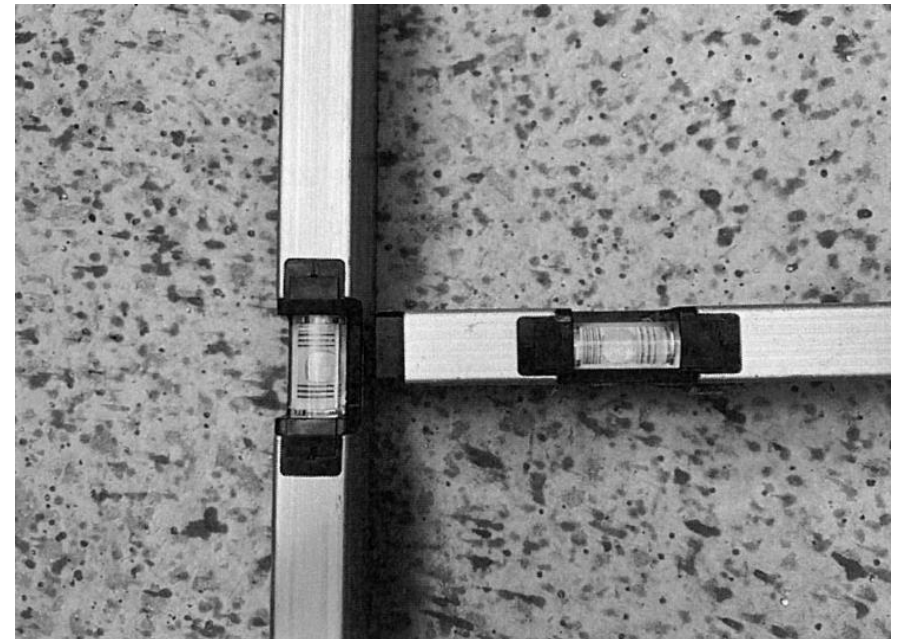
- ・ 使用製品の寸法・厚さが確認できるように撮影してください。(目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)
- ・ PC板設置前に撮影して下さい。(堀山の中ではなく広い場所や搬入場所で撮影)
- ・ 1枚の写真で全体が写らない場合は、分割して撮影してください。

プレキャスト製品設置状況(PC板)

写真(PC板設置状況の写真)



写真(PC板水平確認の写真)



写真のポイント

- ・ 使用製品の水平設置が確認できるように撮影してください。(水平器内部の気泡が見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)
- ・ 1枚の写真で全体が写らない場合は、分割して撮影してください。

浄化槽本体の搬入状況

写真(浄化槽本体搬入の写真)



写真のポイント

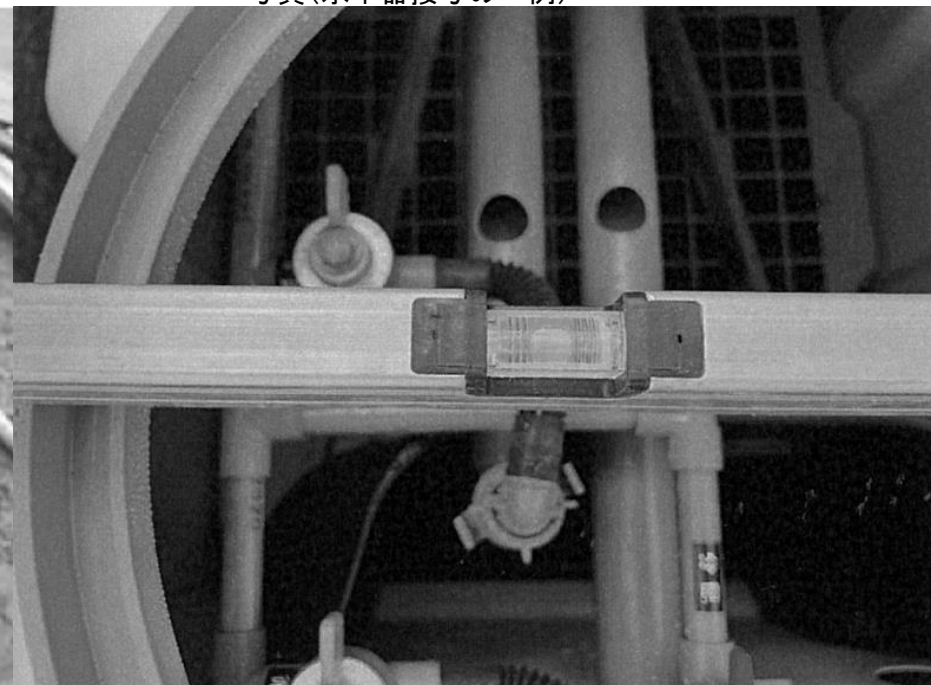
- ・ 現場への浄化槽搬入状況、本体に明記されているメーカー、型式、人槽等が確認できるようにしてください。

浄化槽の据付・水張り状況

写真(据付状況)



写真(水平器接写の一例)



写真のポイント

- ・埋戻し前(中)の水張り、水平確認による作業(水平状況が確認できる水平器のアップも撮影)が確認できるようにしてください。

浄化槽の埋戻し状況

写真(埋戻転圧状況)



写真のポイント

- ・ 埋戻し状況として、水締め及び機械転圧状況が確認できるようにしてください。

上部スラブコンクリートの配筋状況

写真(上部スラブコンクリート配筋状況)

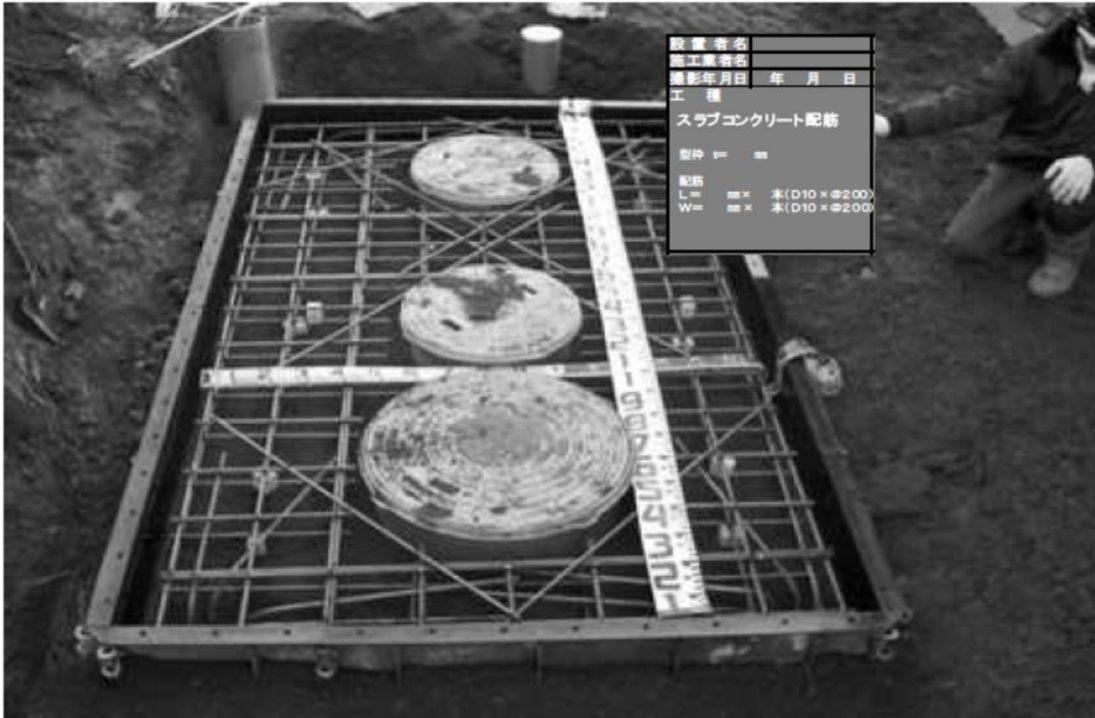
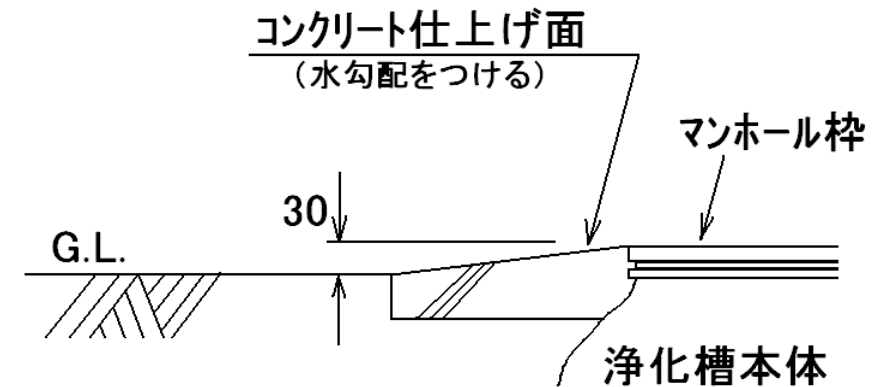


図-2(参考)



工事施工のポイント

- ・ 上部スラブは、原則として地盤面より3cm以上高くする等雨水の流入防止策を講じてください。上部スラブコンクリートの仕上り厚さは、10cm以上を確保してください。(50人槽までの個人設置型の場合は、基礎コンクリート厚さ10cm以上、コンクリート設計基準強度18N/m²以上、スランプ18cm以下と決められています。)上部スラブ天端上の雨水が流れるよう表面に勾配を付けてください。
- ・ 配筋は、異形鉄筋10mmを200mm間隔(シングル)で組み立て、必ずスペーサーを設置してください。マンホール開口部には周囲に補強筋を施してください。
- ・ 十分な養生期間をとってください。
- ・ 開口部補強筋については、適切に施工してください。

写真のポイント

- ・ 鉄筋の間隔がスケール等で確認できるようにしてください。(鉄筋が全部写るようにしてください。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)

上部スラブコンクリートの完成状況

写真(上部スラブコンクリート仕上り状況)



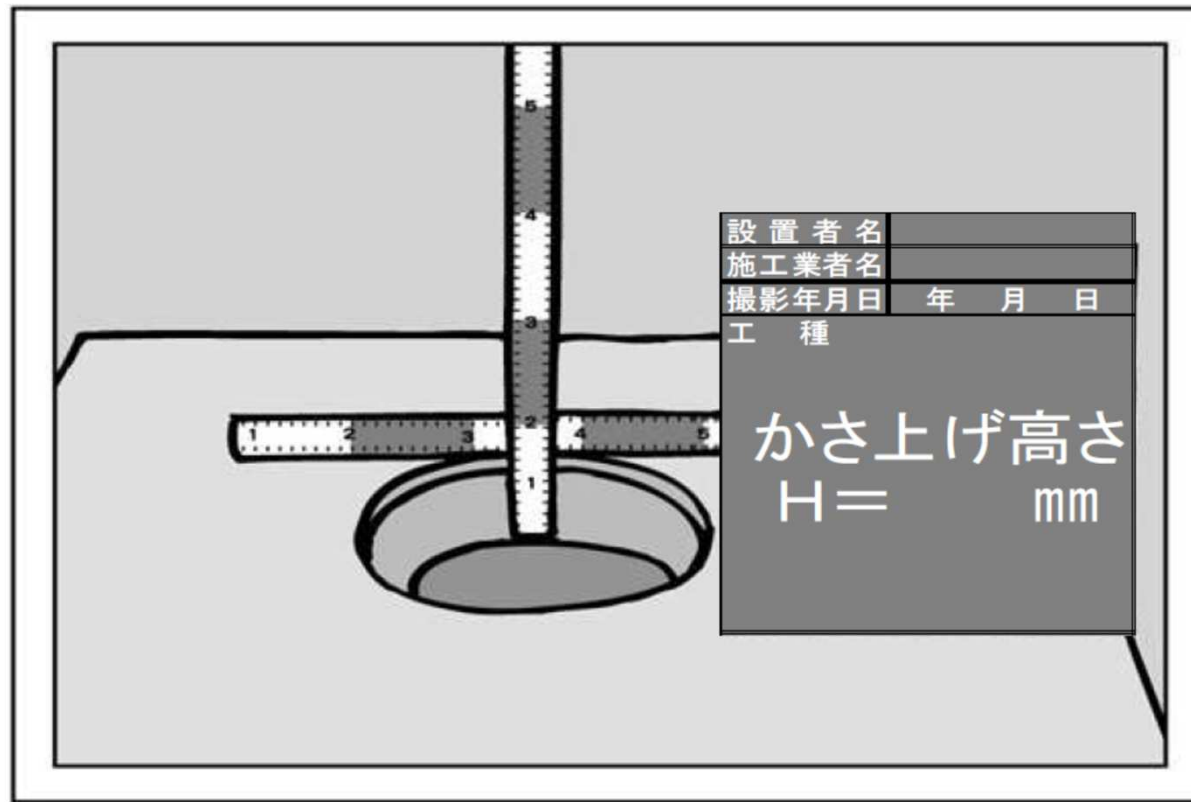
写真のポイント

- ・ 仕上がり長さ、幅、厚さが確認できるようにしてください。

マンホール蓋の嵩上げ状況

(嵩上げが必要な場合のみ)

写真(マンホール蓋嵩上げ状況)



写真のポイント

- ・ スケール等で嵩上げ高さが確認できるようにしてください。(嵩上げ高さは、30cm以内としてください。30cm以上になる場合は、ピット構造にしてください。)

宅内配管写真

(宅内配管補助を申請した場合のみ)

写真(宅内配管設置状況)



写真のポイント

- ・ 浄化槽本体同様、配管前の写真も必要。
- ・ 台所、トイレ、風呂、洗面所等すべての排水桝を撮影すること(設置した桝すべて)。

宅内配管写真 No2

(宅内配管補助を申請した場合のみ)

写真(宅内配管設置状況)



写真のポイント

- ・ 工事終了後の全景写真も必要(1枚に収まらなければ複数枚)。

放流先写真

写真(放流先接続状況)



写真のポイント

上記写真は道路側溝への接続だが、浸透柵の場合は、浸透柵への接続状況写真とする。
放流手前に半地下浸透柵を設置する場合は、半地下浸透柵への接続写真も必要。

ブロワ設置状況

写真(設置状況)



消費電力及び規格
(ブロワの型番な
ど)が記載されてい
るシール部分の接
写を添付して下さ
い。

写真のポイント

- ・ 接写を含め、消費電力及び規格番号等が分かるようにしてください。

完成写真

写真(完成状況)



工事施工のポイント

- ・ 残土処理、廃材処理、後片付けは適正に行ってください。

写真のポイント

- ・ 工事完了が確認できるよう、着手前写真の場所と撮影方向を合わせて状況写真を撮影してください。
- ・ 標識(8号又は9号)及び工事看板を入れて、工事の竣工確認を行った浄化槽設備士の方が写真に入ってください。

その他工種の写真について

1. 駐車場仕様にする場合(車両荷重が想定される場合)
各メーカーの施工要領、仕様書、構造図、配筋図等により工事が適切に行われたことが確認できる写真を追加してください。
2. 自然流下で処理水を放流できない場合
ポンプが設置されていることが確認できる写真を追加してください。
3. マンホール蓋の嵩上げ高さが30cmを超える場合
各メーカーの施工要領、仕様書、構造図、配筋図等により工事が適切に行われたことが確認できる写真を追加してください。
4. 転換設置の場合
既設単独処理浄化槽等の着手前と完了、掘削撤去、廃材処理場運搬、くみ取り、消毒等の状況写真を提出してください。
(エコ補助金の申請を行う場合、転換工事に係る写真については浄化槽設置事業費補助金及びエコ補助金の完成書類両方に添付するため、合計2部必要になります。)
5. その他特殊な工事を実施する場合
必要となる写真を事前に確認してください。

その他技術基準等の注意点について

1. 技術基準について

補助事業を進める上で、写真の撮り方説明として工事施工、写真のポイントについて必要最小限で明記しています。それ以外の疑問点がある場合、沼田市上下水道整備課に問合せをお願いします。基準に満たしていない、施工不良等が確認された場合は、補助事業の取り消しとなる場合もありますので、注意をして施工を進めてください。

2. 放流先について

公共の道路側溝等に放流する場合は、管理している土木事務所又は沼田市建設課(管理係)等と協議(申請)を必ずしてください。(新規に放流する場合、占用許可書の写しが必要となります。)

3. 既製底版コンクリートの使用について

既製底版コンクリート(以下、PC板)を使用する場合、必要写真が下記のようになりますので注意してください。

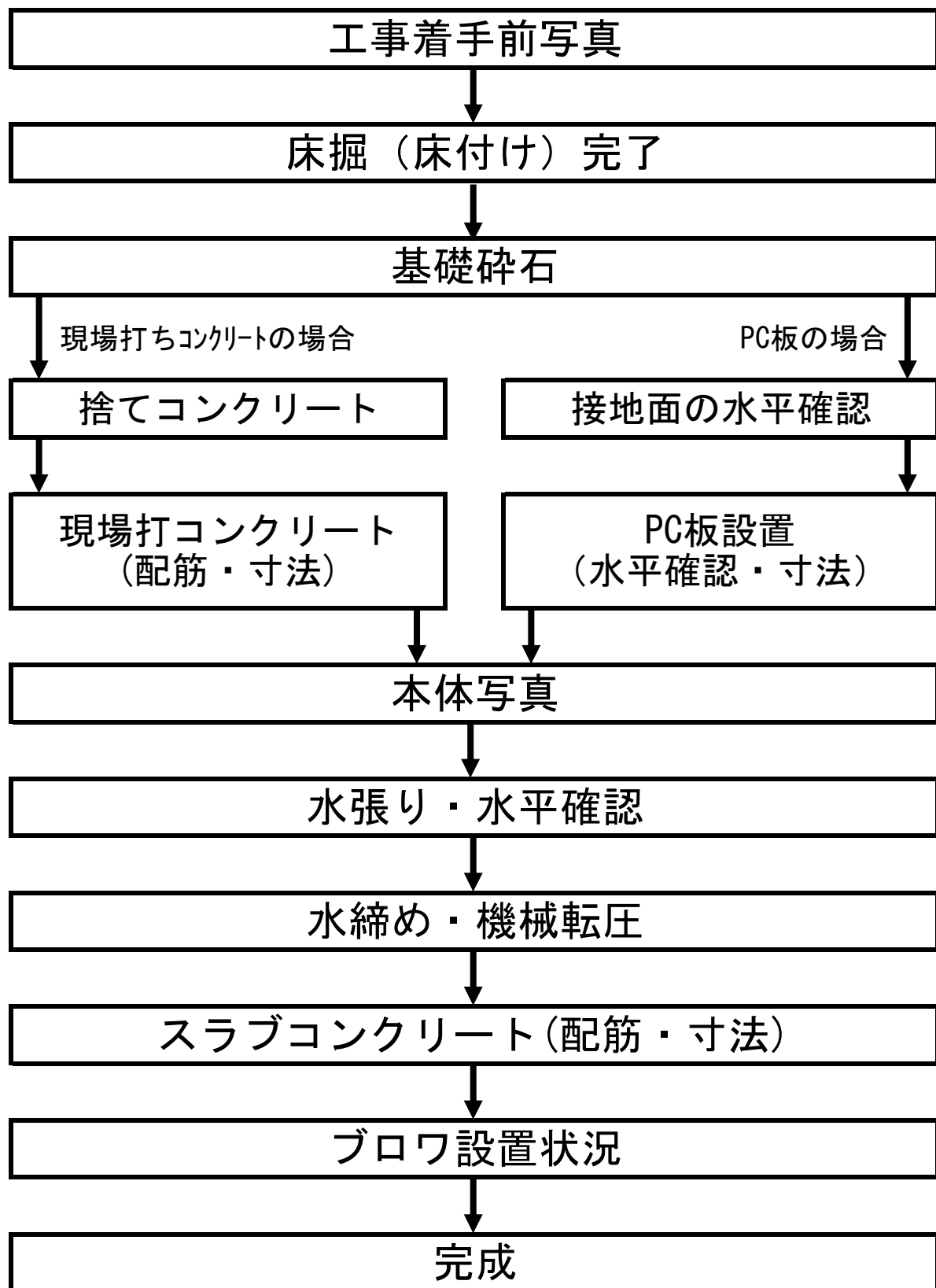
・捨てコンクリート完了

PC板を使用する場合、捨てコンクリート施工の有無はどちらでも問題ありません。

・基礎コンクリート

設置状況の写真として、「PC板の確認写真(PC板を設置する以前に、地上に置いた状態でメーカー名・PC板の寸法が確認できるもの)」「PC板の設置写真(水平器等でPC板の水平設置が確認できるもの)」が必要となりますので必ず撮影して下さい。

写真撮影の流れ



○エコ補助金（既設便槽撤去）

- ・ 着工前状況
- ・ 撤去状況
- ・ 廃材処理場運搬状況
- ・ 埋め戻し状況
- ・ 完了状況

○エコ補助金（既設便槽撤去不可）

- ・ 着工前状況
- ・ 汲取状況（汲取済の場合不要）
- ・ 消毒状況
- ・ 底部処理状況（穴空け等）
- ・ 埋め戻し状況
- ・ 完了状況

写真撮影 チェックリスト(浄化槽設置工事)

R5.4.1更新

本体工事の写真		注意事項等	申請者 確認	市 確認
1	着工前	設備士が必ず入り、標識(黒板等)を明確に撮影	☐	☐
2	浄化槽本体	浄化槽の型式が分かるように撮影	☐	☐
3	床掘工	全体が写っていて、スケール等で掘削深が確認できるように	☐	☐
4	基礎砕石状況	スケール等で仕上がり面の高さが確認できるように 基礎砕石等の仕上がり厚が確認できるように	☐	☐
5	捨てコンクリート打設状況	スケール等で仕上がり面の高さが確認できるように 捨てコンクリートの仕上がり厚が確認できるように ※PC板を使用する場合は任意施工	☐	☐
6	基礎コンクリート打設前配筋状況 (※現場打ちコンクリートの場合)	型枠の高さがスケール等で確認できるように 鉄筋の間隔がスケール等で確認できるように スペーサーの設置が確認できるように	☐	☐
7	基礎コンクリート打設状況 (※現場打ちコンクリートの場合)	スケール等で仕上がり面までの高さが分かるように 仕上がり長さ、幅、厚さが確認できるように	☐	☐
8	PC板本体(※PC板の場合)	全体を撮影 側面に記載されている寸法が分かるように撮影	☐	☐
9	PC板据付状況(※PC板の場合)	スケール等で長さ、幅、高さが分かるように	☐	☐
		水平であることが確認できるように (水平器の接写を添付)	☐	☐
10	浄化槽据付・水張り状況	据付時の水張り状況が確認できるように	☐	☐
		水平であることが確認できるように (水平器の接写を添付)	☐	☐
11	浄化槽埋戻し状況			
11-1	(1)水締め	水締め状況が確認できるように	☐	☐
11-2	(2)転圧状況	適切な転圧が確認できるように	☐	☐
12	上部スラブコンクリート配筋状況	鉄筋の間隔が確認できるように	☐	☐
13	上部スラブコンクリート完成状況	仕上がり長さ、幅、厚さが確認できるように	☐	☐
14	マンホール蓋嵩上げ状況	スケール等で嵩上げ高さが確認できるように	☐	☐
15	ブロワー設置状況	ブロワー設置が確認できるように	☐	☐
		消費電力の表示部分が確認できるように(接写を添付)	☐	☐
16	工事完成写真	設備士が必ず入り、標識(黒板等)を明確に撮影	☐	☐
17	浸透柵または半地下浸透柵接続状況	浸透柵または半地下浸透柵に接続が確認できるように ※浸透柵または半地下浸透柵を設置した場合。	☐	☐
18	放流先への接続状況	浸透柵、側溝等及び既設管への排水管又は柵の接続状況が 確認できるもの	☐	☐

写真撮影 チェックリスト(転換工事・宅内配管工事)

R5.4.1更新

単独浄化槽・くみ取り槽を撤去する場合			申請者 確認	市 確認
		注意事項等		
1	撤去前	撤去するものが分かるように	☐	☐
2	し尿の引抜き状況	し尿の引抜きが工事着手までに行われていない場合添付	☐	☐
3	撤去中		☐	☐
4	撤去物	掘起こし後、撤去物全体が写るように	☐	☐
5	運搬中	トラックに積載後撮影	☐	☐
6	中間処理施設	処理施設の看板と運搬車が納まるように撮影	☐	☐
7	撤去物の荷下ろし	処理施設内に荷下ろした状況が分かるように	☐	☐
8	撤去後の現場写真	掘起こし後及び埋戻し後の 2枚必要	☐	☐

単独浄化槽・くみ取り槽が撤去不可の場合			申請者 確認	市 確認
		注意事項等		
1	撤去前	撤去するものが分かるように	☐	☐
2	既設槽の穴あけ状況		☐	☐
3	既設槽の消毒状況	使用した消毒剤が分かるように写真内に収めること	☐	☐
4	既設槽埋戻し状況		☐	☐
5	撤去後の現場写真	埋戻し後の写真を添付	☐	☐

宅内配管費補助の写真 (宅内配管補助を受ける場合)			申請者 確認	市 確認
		注意事項等		
1	工事施工前状況	新設する配管場所の全景写真の撮影	☐	☐
2	排水管・排水桝の設置状況	新設した排水管・排水桝が露出した状況で すべてを撮影 複数枚になっても構いません	☐	☐
3	排水管・排水桝の埋設後の写真	浄化槽と桝蓋が写るように撮影	☐	☐
4	浸透桝または半地下浸透桝接続状況	浸透桝または半地下浸透桝に接続が確認できるように ※浸透桝または半地下浸透桝を設置した場合。	☐	☐
5	放流先への接続状況	浸透桝、側溝及び既設管等への排水管又は桝の接続状況が 確認できるもの	☐	☐